

懇談会概要

■開催日時：令和7年6月27日（金） 13：00～14：10

■開催場所：千葉国道事務所 2階会議室

■出席者

[委員長] 屋井 鉄雄 （東京科学大学特任教授・名誉教授）
[委員] 池邊 このみ （千葉大学グランドフェロー） (WEB)
小幡 純子 （日本大学大学院法務研究科教授） (WEB)
白石 和泰 （TMI 総合法律事務所パートナー弁護士
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授）
寺部 慎太郎 （東京理科大学創域理工学部社会基盤工学科教授）
中村 英夫 （日本大学理工学部土木工学科教授） (WEB)
二村 真理子 （東京女子大学現代教養学部経済経営学科教授） (WEB)
[事務局] 関東地方整備局千葉国道事務所長 藤井 和久
千葉県県土整備部道路計画課長 近藤 亮
千葉市建設局道路部長 日暮 秀訓
市川市道路交通部長 (代理)道路交通部次長 戸枝 秀行
船橋市建設局都市計画部長 杉原 弘一
習志野市都市環境部長 (代理)都市環境部副技監 山崎 昇
市原市土木部長 (代理)土木部次長 北森 努 (WEB)
浦安市都市政策部都市政策部長 須賀 真 (WEB)

■次第

- (1) 第2回有識者委員会の意見・指摘の整理
- (2) 第2回有識者委員会資料の修正
- (3) 第2回コミュニケーション活動について

■確認事項

- コミュニケーション活動に関する資料について、以下の意見を踏まえた修正を行い実施していくことを確認した。

■主な意見

- 「用地に関するリスク」は具体的なご意見を伺えるような示し方がよい。
- 事業費における用地買収の算出方法についても注意書きを入れてはどうか。
- 案1のルート of の考え方に記載のある「既存の都市計画を有効活用」は「公共用地の有効活用」とは趣旨が異なるので、表現を修正した方がよい。
- 幕張の浜や稲毛の浜など地域の皆様がレジャーとして活用している場所がどのようになるのかをプラスの効果も含めてご意見を頂けるように示せるとよい。
- ルートの代替案という視点では2ルートになるため、丁寧な説明を行うとよい。
- 次のステップの比較評価を行う段階では、道路計画策定プロセスガイドラインに基づき定量的な数値で示せるものは示していけるとよい。
- 案1と案2が示す道路規格について、可能な範囲で書き加えていけるとよい。
- ニューズレター3号は市民の意見を掲載しながらまとめられているのでよい。
- 対応案は「目的に加えて検討していく」「目的と関連する事項として検討していく」「概略計画以降の事業化段階で検討していく」の3段階での表現となるとよい。
- 代替案を明確にして市民に伝えることは重要なので、地下構造主体案がどの範囲を地下構造として考えているのかを示すこと。